

各課への問い合わせは、
直通電話をご利用ください。

経営統括室
企画経営係 ☎ 75-2116
広報統計係 ☎ 75-2114
電子自治体係 ☎ 75-2114
総務課 ☎ 75-2112
秘書係 ☎ 75-2115
市史編さん係 ☎ 75-2714
財政課 ☎ 75-2118

税務課
課税係 ☎ 75-2126
納税係 ☎ 75-6115
地籍調査係 ☎ 75-2176

経営統括室 ☎ 75-2113

市民生活課
市民係・国保年金係 ☎ 75-6116
生活環境係 ☎ 75-6117
清掃センター ☎ 75-3001

福祉健康課
社会福祉係 ☎ 75-6118
高齢・障害者福祉係 ☎ 75-4823
健康増進係 ☎ 75-3355

人権・同和対策課
人権・同和対策係 ☎ 75-4824

経営統括室 ☎ 75-2132

産業振興課
農政係 ☎ 75-4825
商工観光係 ☎ 75-2117
企業誘致推進係 ☎ 75-2117
建設整備課 ☎ 75-4826
下水道係 ☎ 75-2179
都市計画課
都市・住宅係 ☎ 75-4827
街づくり係 ☎ 75-3170

市立病院
管理係 ☎ 75-2105
会計課 ☎ 75-6114
水道課 ☎ 75-3003
議会事務局 ☎ 75-4828
監査委員事務局 ☎ 75-4830
農業委員会事務局 ☎ 75-4831
選挙管理委員会事務局 ☎ 75-4829
市立図書館 ☎ 75-2233
中央公民館 ☎ 74-3241
教育委員会事務局
教育統括室 ☎ 75-3450
学校教育課 ☎ 75-2227
生涯学習課 ☎ 74-3241

考え方 教育の今 子どもたちの未来 教育委員会だより

多久市議会議員による

犬山市の教育視察

昨年11月、市議会総務文教委員のみさんが教育視察をされた愛知県の犬山市教育委員会と、多久市教育委員会が候補地として推薦した宮城県の仙台市教育委員会の取り組みを概観してみたいと思います。教育改革には三つのタイプがあると言われます。高知県のタイプ（父母・子ども・地域住民の「参加・自治」の拡大という方法）や品川区のタイプ（競争をとおして質的向上を目指す市場原理的な改革）とは違つていて、両市の取り組みには共通するものがあります。

犬山市では、教師の専門性をどうしたら高められるかという課題に取り組んでいます。どうやって効果のある学校にするか、効果のある授業をするにはどうしたらよいかを、具体的に考える改革です。教師の専門性を重視し、学校内部からの改革で

入や少人数学級を実現し（能力別クラス編制とは違う）、副教本づくりを先生たちがやっています。あるいは、新しいスタイルの教育実践で教

あるという特徴があります。犬山市では実際に、少人数授業・TTの導入や少人数学級を実現し（能力別クラス編制とは違う）、副教本づくりを先生たちがやっています。あるいは、新しいスタイルの教育実践で教

くが少なく、しかも教師にとって実践可能な内容となるからです。机上の空論になりがちな教育改革論ですが、現実味のある改革であることに

は間違いないと思われます。

一方、私たちが視察の候補地として推薦したのは、仙台市教育委員会です。ここでは、授業や教科指導のエキスパート（退職校長や大学の先生等）を学校課題の解決に四苦八苦している学校に長期間派遣しております。関係者の間で話題になつていて

クが少なく、しかも教師にとって実践可能な内容となるからです。机上の空論になりがちな教育改革論ですが、現実味のある改革であることに

は間違いないと思われます。

見直すことと教師の専門的力量に当てられております。犬山市では、「学び合い」型授業を取り入れ、クラスの子に教えたり教えてもらつたりする授業が多いと、学力格差が少なくなることが実証されています。犬山市の教育改革に対する挑戦は、これから日本の教育改革をどのようにしたらよいかのヒントを与えるに違いありません。現在の根本

では、多久市教育委員会はどのようなタイプの改革を目指しているのか。不登校や学力格差、学習意欲の低下、人間関係づくりの未熟さといった課題解決には、現状のままでではなく、改善の方向には向かないのです。ここでは、授業や教科指導のエキスパート（退職校長や大学の先生等）を学校課題の解決に四苦八苦している学校に長期間派遣しております。関係者の間で話題になつていて

クが少なく、しかも教師にとって実践可能な内容となるからです。机上の空論になりがちな教育改革論ですが、現実味のある改革であることに

は間違いないと思われます。

そこで、小学校から中学校へのつなぎを滑らかにするための制度や枠組みを変えることで解決し乗り越えたいと思っております。その過程で、意識改革を（教師・児童生徒・保護者・地域・行政）の団りながら、その上で、学校内部からの授業実践の刷新と教師の専門的力量に焦点を当てて進めていきたいと考えています。議員の皆様からは、犬山市に見られるような情熱的な取り組みを期待するとの熱い激励をいただきました。小なりといえども、文教の地にふさわしい教育を創りあげるために、奮励したいと考えています。

○次回の定例教育委員会は、2月7日(木)13時30分から第3委員会室（市役所2階）で開催します。自由に傍聴できます。